

平成26年度

# シラバス

5年次

歯科医学総合講義 5



自主創造  
日本大学

日本大学松戸歯学部

# 平成26年度 歯科医学総合講義5

## 目 次

一般目標・講義・試験実施要項等 .....	1
講義・試験日程表 .....	4
各講義シラバス .....	9



## 平成 26 年度 歯科医学総合講義 5 シラバス

### 一般目標(General Instructional Objective):

臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた基礎的および臨床的な知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

#### 1) 講義実施要項

1. 講義教室：401 教室
2. 講義時間：月曜日から土曜日までの午前 8 時 40 分～9 時 30 分
3. 以下の 6 ユニットに分割する。講義日程参照。

ユニット I：基礎歯科医学領域

ユニット II：診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域

ユニット III：歯科保存領域

ユニット IV：補綴・インプラント領域

ユニット V：放射線・口腔外科（インプラント含む）・歯科麻酔・臨床検査

ユニット VI：口腔衛生領域

4. 講義は国家試験問題に基づいて基礎から臨床までの領域を理解することを目標とし、各ユニットを以下のように構成する。

- ① プレテスト：歯科医師国家試験過去問題から改変問題を対象としたテスト
- ② 臨床テーマ別講義：臨床実習で遭遇する症例に理解を深める講義で、プレテスト問題に関連する内容をテーマ別に解説する（ユニット I と VI を除く）。

#### 2) 歯科医学総合講義 5 のプレ試験、平常試験、学力評価試験、総合試験（定期試験）および再試験実施要項

##### 1. プレテスト

各ユニット開始時に歯科医師国家試験問題の改変問題を出題する。出題範囲、問題数、試験時間は以下の通りとする。

ユニット	国試出題範囲	実施日	試験時間	一般問題数	臨床問題数	合計
I	104～107 回	10/1	8：40～9：20	40		40
II	105～107 回	10/14	8：40～9：55	35	20	55
III	105～107 回	11/5	8：40～10：20	40	30	70
IV	105～107 回	11/26	8：40～10：20	40	30	70
V	105～107 回	1/8	8：40～10：20	40	30	70
VI	105～107 回	2/10	8：40～9：40	50	5	55

## 2. 平常試験

- ① ユニットⅡ～Ⅵ終了後に平常試験を実施する。
- ② 平常試験の追試験は実施しない。
- ③ 筆記試験とし、講義1コマ毎に出題する。ただし、ユニットⅥは客観試験（MCQ）とする。  
試験時間等は以下の通りである。

試験区分	実施日	試験時間	試験種類	問題数
平常試験1	11/4	8：40～10：00	筆記試験	16
平常試験2	11/25	8：40～9：55	筆記試験	15
平常試験3	12/22	8：40～10：20	筆記試験	20
平常試験4	2/9	8：40～10：30	筆記試験	22
平常試験5	2/23	8：40～9：50	MCQ試験	70

## 3. 学力評価試験

基礎および臨床科目の総合学力評価を目的として、歯科医師国家試験に準じた学力評価試験を実施する。

- ① 試験日 平成27年1月6日（火）
- ② 試験時間 10：00～12：30、13：30～15：40
- ③ 試験問題数 必修40問，一般107問，臨実53問の合計200問

## 4. 総合試験（定期試験）

- ① 試験日 平成27年3月2日（月）
- ② 試験時間 10：00～11：50（一般110問），13：00～14：45（臨実42問）
- ③ 試験問題数 歯科医学総合講義5（ユニットⅡ～Ⅵ）の講義内容を基にMCQ形式の問題152問とする。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。

ユニット	一般問題数	臨実問題数
Ⅱ	20	10
Ⅲ	20	10
Ⅳ	20	10
Ⅴ	25	10
Ⅵ	25	2

### 3) 歯科医学総合講義5の合格基準

各試験の評価割合をプレテスト全正答率の10%，平常試験全正答率の30%，学力評価試験正答率の10%および総合試験正答率の50%を合計し，その正答率が65%以上の者を歯科医学総合講義5の合格者とする。

#### 4) 追・再試験について

- ① 上記の合格基準に満たない者で総合試験を受験した者を再試験該当者とし、再試験受験手続をした者に行う。
- ② 総合試験を病気など正当な理由で欠席し、追試験の手続きをした者に行う。
- ③ 試験問題数は、歯科医学総合講義 5 の講義内容を基に一般問題 55 問、臨実問題 21 問の総問題数 76 問とする。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。

ユニット	一般問題数	臨実問題数
Ⅱ	10	5
Ⅲ	10	5
Ⅳ	10	5
Ⅴ	12	5
Ⅵ	13	1

- ④ 試験日 平成 27年3月16日 (月)
- ⑤ 試験時間 10:00～11:50
- ⑥ 合格判定基準 各試験の評価割合をプレ試験全正答率の 5%、平常試験全正答率の 25%、学力評価試験正答率の 5%および追再総合試験正答率の 65%を合計し、その正答率が 65%以上の者を歯科医学総合講義 5 の合格者とする。
- ⑦ **追・再試験は、総合試験合格者も実力試験として受験すること。**

平成26年度 歯科医学総合講義5 日程表  
 出席確認 8:35~8:40, 講義時間 8:40~9:30, 会場 401教室

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
10月1日	水	<b>プレ試験I</b>	<b>基礎歯科医学領域</b>				
10月2日	木	ユニットI-1	プレ試験問題解説講義1	平塚浩一	解剖学I	松野昌展	
10月3日	金	ユニットI-2	プレ試験問題解説講義2		口腔病理学	久山佳代	
10月4日	土						日本大学創立記念日
10月5日	日						
10月6日	月	ユニットI-3	プレ試験問題解説講義3		生理学	吉垣純子	
10月7日	火	ユニットI-4	プレ試験問題解説講義4		解剖学II	岡田裕之	
10月8日	水	ユニットI-5	プレ試験問題解説講義5		薬理学	松本裕子	
10月9日	木	ユニットI-6	プレ試験問題解説講義6	平塚浩一	口腔微生物学	栗原紀子	
10月10日	金	ユニットI-7	プレ試験問題解説講義7		生化学・分子生物学	平塚浩一	
10月11日	土	ユニットI-8	プレ試験問題解説講義8		歯科生体材料学	西山典宏	
10月12日	日						
10月13日	月						体育の日
10月14日	火	<b>プレ試験II</b>	<b>診断・小児歯科・矯歯科正・障害者歯科領域</b>				
10月15日	水	ユニットII-1	医療面接		歯科総合診療学	多田充裕	
10月16日	木	ユニットII-2	POSとPOMR	岡本 京	歯科総合診療学	岡本康裕	
10月17日	金	ユニットII-3	医療倫理		歯科総合診療学	青木伸一郎	
10月18日	土	ユニットII-4	医療コミュニケーションスキル		歯科総合診療学	多田充裕	
10月19日	日						
10月20日	月	ユニットII-5	解説講義		小児歯科学	清水邦彦	
10月21日	火	ユニットII-6	小児の外傷歯への対応		小児歯科学	岡本 京	
10月22日	水	ユニットII-7	小児期の歯冠修復と歯内療法		小児歯科学	荒井清司	
10月23日	木	ユニットII-8	小児の歯科診療、齲蝕と進行抑制	岡本 京	小児歯科学	伊藤龍朗	
10月24日	金	ユニットII-9	摂食・嚥下リハビリテーション		障害者歯科学	野本たかと（地主知世）	
10月25日	土	ユニットII-10	障害者の歯科治療		障害者歯科学	三田村（林）佐智代	
10月26日	日						
10月27日	月	ユニットII-11	高齢者の歯科治療		障害者歯科学	野本たかと（伊藤 粹）	
10月28日	火	ユニットII-12	訪問歯科診療		障害者歯科学	梅澤幸司	
10月29日	水	ユニットII-13	不正咬合の原因		矯正歯科学	五関たけみ	
10月30日	木	ユニットII-14	矯正装置	岡本 京	矯正歯科学	斎藤勝彦	
10月31日	金	ユニットII-15	永久歯列の矯正治療		矯正歯科学	斎藤勝彦	
11月1日	土	ユニットII-16	顎変形症の治療		矯正歯科学	五関たけみ	
11月2日	日						
11月3日	月						文化の日
11月4日	火	<b>平常試験1</b>		野本たかと			
11月5日	水	<b>プレ試験III</b>	<b>保存修復・歯内療法・歯周病領域</b>	岡田珠美			
11月6日	木	ユニットIII-1	齲蝕のリスクファクターと予防法について		保存修復学	岡田珠美	

月日	曜日	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
11月7日	金	ユニットIII-2	齶蝕除去の臨床手順と使用器具及び歯髄保護法とAIPCについて	岡田珠美	保存修復学	岡田珠美	
11月8日	土	ユニットIII-3	コンボジットレジン修復の術式と使用器具・器材について		保存修復学	神谷直孝	
11月9日	日						
11月10日	月	ユニットIII-4	レジン・セラミックインレーの窩洞の特徴、臨床手順と接着操作について		保存修復学	森 俊幸	
11月11日	火	ユニットIII-5	接着修復治療の術後管理 -補修修復を中心にして		保存修復学	鈴木英明	
11月12日	水	ユニットIII-6	歯髄・根尖歯周疾患	岡田珠美	歯内療法学	松島 潔	
11月13日	木	ユニットIII-7	歯内療法原則		歯内療法学	岡部 達	
11月14日	金	ユニットIII-8	歯髄・根尖歯周疾患の治療		歯内療法学	神尾直人	
11月15日	土	ユニットIII-9	歯髄・根尖歯周疾患の治療 (高齢者の治療・外傷を含む)		歯内療法学	岡部 達	
11月16日	日						
11月17日	月	ユニットIII-10	歯髄・根尖歯周疾患の治療 (顕微鏡・NiTiファイル)		歯内療法学	松島 潔	
11月18日	火	ユニットIII-11	歯周病の診査・診断		歯周治療学	吉野祥一	
11月19日	水	ユニットIII-12	歯周病と全身疾患		歯周治療学	中山洋平	
11月20日	木	ユニットIII-13	最新の歯周治療	岡田珠美	歯周治療学	小方頼昌	
11月21日	金	ユニットIII-14	歯周基本治療・咬合治療		歯周治療学	高井英樹	
11月22日	土	ユニットIII-15	歯周外科手術・メインテナンス・SPT		歯周治療学	高井英樹	
11月23日	日						勤労感謝の日
11月24日	月						
11月25日	火	平常試験2					
11月26日	水	プレ試験IV	<b>有床義歯・クラウンブリッジ・インプラント領域</b>				
11月27日	木	ユニットIV-1	顎機能に関わる解剖	小林 平	顎口腔機能治療学	川良美佐雄	
11月28日	金	ユニットIV-2	顎機能に関わる生理		顎口腔機能治療学	小見山 道	
11月29日	土	ユニットIV-3	有床義歯補綴治療に必要な解剖学的知識		有床義歯補綴学	木本 統	
11月30日	日						
12月1日	月	ユニットIV-4	有床義歯補綴診療における模型診断と義歯設計		有床義歯補綴学	河相安彦 (石井智浩)	
12月2日	火	ユニットIV-5	有床義歯製作のための精密印象		有床義歯補綴学	飯島守雄	
12月3日	水	ユニットIV-6	部分床義歯の支台装置と連結子		有床義歯補綴学	河相安彦 (石井智浩)	
12月4日	木	ユニットIV-7	有床義歯における顎間関係の記録 (咬合採得)	小林 平	有床義歯補綴学	伊藤誠康	
12月5日	金	ユニットIV-8	クラスプ・メタルフレーム試適と人工歯配列・試適		有床義歯補綴学	河相安彦 (石井智浩)	
12月6日	土	ユニットIV-9	有床義歯製作における下顎運動の記録方法		有床義歯補綴学	飯島守雄	
12月7日	日						
12月8日	月	ユニットIV-10	有床義歯の術後管理とトラブルの対処法		有床義歯補綴学	木本 統	
12月9日	火	ユニットIV-11	有床義歯の装着後の調整		有床義歯補綴学	河相安彦 (矢崎貴啓)	
12月10日	水	ユニットIV-12	リライオン・リベース	小林 平	有床義歯補綴学	大久保昌和	
12月11日	木	ユニットIV-13	クラウンブリッジの診査と設計方針		クラウンブリッジ補綴学	會田雅啓 (後藤治彦)	
12月12日	金	ユニットIV-14	前処置・支台築造・支台歯形成		クラウンブリッジ補綴学	小林 平	
12月13日	土	ユニットIV-15	歯肉圧排・精密印象・咬合採得		クラウンブリッジ補綴学	小林 平	
12月14日	日						
12月15日	月	ユニットIV-16	ワックスアアップ・埋没・鑄造・ろう着	小林 平	クラウンブリッジ補綴学	小林 平	

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
12月16日	火	ユニットIV-17	研磨・試適・仮着・装着・術後管理		クラウンリッジ補綴学	會田雅啓(後藤治彦)	
12月17日	水	ユニットIV-18	インプラント治療にかかわる基本的知識	小林 平	口腔インプラント学	村上 洋	
12月18日	木	ユニットIV-19	インプラントの上部構造・補綴治療		口腔インプラント学	北川剛至	
12月19日	金	ユニットIV-20	解説講義			村上 洋	
12月20日	土	予備					
12月21日	日						
12月22日	月	<b>平常試験3</b>		小林 平			天皇誕生日
12月23日	火						
12月24日	水	休講					
12月25日	木	休講					
12月26日	金	休講					
12月27日	土	休講					
12月28日	日						
12月29日	月						
12月30日	火						
12月31日	水						
1月1日	木						
1月2日	金						
1月3日	土						
1月4日	日						
1月5日	月						
1月6日	火	<b>学力評価試験</b>		平山聡司			
1月7日	水						
1月8日	木	<b>プレ試験V</b>	<b>放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査領域</b>	市村真奈			
1月9日	金	<b>OSCAT説明1</b>		松島 潔			
1月10日	土	<b>OSCAT説明2</b>		松島 潔			
1月11日	日						
1月12日	月						成人の日
1月13日	火	ユニットV-1	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断		放射線学	小椋一朗	
1月14日	水	ユニットV-2	歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断		放射線学	小椋一朗	
1月15日	木	ユニットV-3	顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	市村真奈	放射線学	佐々木悠介	
1月16日	金	ユニットV-4	軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断		放射線学	佐々木悠介	
1月17日	土	ユニットV-5	感染症		歯科臨床検査医学	市村真奈	
1月18日	日						
1月19日	月	ユニットV-6	出血性因素		歯科臨床検査医学	小峰千明	
1月20日	火	ユニットV-7	貧血		歯科臨床検査医学	深津 晶	
1月21日	水	ユニットV-8	全身疾患を有する患者に対する外科処置について	市村真奈	顎顔面外科学	近藤壽郎(河島 睦)	
1月22日	木	ユニットV-9	抜歯について		口腔外科学	浜野美緒	
1月23日	金	ユニットV-10	炎症性疾患について		口腔外科学	西村 均	

月日	曜日	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考	
1月24日	土	ユニットV-11	ウイルス疾患について	市村真奈	口腔外科学	浜野美緒		
1月25日	日							
1月26日	月	ユニットV-12	上顎骨骨折について	市村真奈	顎顔面外科学	近藤壽郎 (植木宏之)		
1月27日	火	ユニットV-13	下顎骨骨折について		顎顔面外科学	近藤壽郎 (石上大輔)		
1月28日	水	ユニットV-14	粘膜疾患について		顎顔面外科学	近藤壽郎 (岩井 聡)		
1月29日	木	ユニットV-15	ビスホスホネートと顎骨髄炎		口腔外科学	浜野美緒		
1月30日	金	ユニットV-16	口腔インプラント埋入手術について		口腔インプラント学	玉木大之		
1月31日	土	ユニットV-17	バイタルサインについて		歯科麻酔学	渋谷 鑛 (峯村麻由)		
2月1日	日							
2月2日	月	ユニットV-18	救急蘇生・2次救命処置について	市村真奈	歯科麻酔学	石橋 肇		
2月3日	火	ユニットV-19	気管支喘息・ステロイドについて		歯科麻酔学	渋谷 鑛 (石川義継)		
2月4日	水	ユニットV-20	高血圧・虚血性心疾患について		歯科麻酔学	鈴木正敏		
2月5日	木	ユニットV-21	糖尿病について		歯科麻酔学	下坂典立		
2月6日	金	ユニットV-22	心臓弁膜疾患について		歯科麻酔学	渋谷 鑛 (岡部靖子)		
2月7日	土	ユニットV-23	予備					
2月8日	日							
2月9日	月	平常試験4						
2月10日	火	プレ試験VI	口腔衛生領域	有川量崇				
2月11日	水						建国記念日	
2月12日	木	ユニットVI-1	プレ試験問題解説講義1	有川量崇	公衆予防歯科学	有川量崇		
2月13日	金	ユニットVI-2	プレ試験問題解説講義2		公衆予防歯科学	有川量崇		
2月14日	土	ユニットVI-3	齲蝕の予防・管理		公衆予防歯科学	那須郁夫 (田口千恵子)		
2月15日	日							
2月16日	月	ユニットVI-4	フッ化物応用	有川量崇	公衆予防歯科学	那須郁夫 (田口千恵子)		
2月17日	火	ユニットVI-5	歯周疾患の予防と健康管理・増進		公衆予防歯科学	那須郁夫 (田口千恵子)		
2月18日	水	ユニットVI-6	地域医療関係法規		公衆予防歯科学	有川量崇		
2月19日	木	ユニットVI-7	地域歯科保健		公衆予防歯科学	後藤田宏也		
2月20日	金	ユニットVI-8	歯科疾患の統計指標		公衆予防歯科学	後藤田宏也		
2月21日	土	ユニットVI-9	歯科医療の質と安全の確保及び診療記録・情報		公衆予防歯科学	有川量崇		
2月22日	日							
2月23日	月	平常試験5			有川量崇			
2月24日	火	休講(出席のみ)						
2月25日	水	休講(出席のみ)						
2月26日	木	休講(出席のみ)						
2月27日	金	休講(出席のみ)						
2月28日	土	休講(出席のみ)						
3月1日	日							
3月2日	月	総合試験						
3月3日	火	休講(出席のみ)						

月日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
3月4日	水	休講(出席のみ)					
3月5日	木	休講(出席のみ)					
3月6日	金	休講(出席のみ)					
3月7日	土	休講(出席のみ)					再試験該当者発表
3月8日	日						
3月9日	月						
3月10日	火	休講(出席のみ)					
3月11日	水	休講(出席のみ)					
3月12日	木	休講(出席のみ)					
3月13日	金	休講(出席のみ)					
3月14日	土	休講(出席のみ)					
3月15日	日						
3月16日	月	<b>再試験(実力試験)</b>					
3月17日	火	基礎系補習講義1			公衆予防歯科学	有川量崇	
3月18日	水	基礎系補習講義2		宇都宮 忠彦	公衆予防歯科学	後藤田宏也	
3月19日	木	基礎系補習講義3			口腔免疫学	落合智子	
3月20日	金	基礎系補習講義4			解剖学 I	松野昌展	
3月21日	土						
3月22日	日						
3月23日	月	基礎系補習講義5			薬理学	松本裕子	
3月24日	火	基礎系補習講義6			解剖学 II	岡田裕之	
3月25日	水	基礎系補習講義7			生化学・分子生物学	平塚浩一	
3月26日	木	基礎系補習講義8		宇都宮 忠彦	歯科生体材料学	谷本安浩	
3月27日	金	基礎系補習講義9			生理学	加藤 治	
3月28日	土	基礎系補習講義10			口腔病理学	宇都宮忠彦	
3月29日	日						
3月30日	月	休講(出席のみ)					
3月31日	火	<b>6年次課題別講義ガイダンス</b>					

講義日	時限	国試出題基準
10月02日	1時限	総論-IV-1-ア 総論-IV-1-イ 総論-IV-1-エ 総論-IV-1-オ

---

担当者 松野 昌展

テーマ： プレ試験問題解説講義1

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

1) 頭頸部の構造を形態学的に説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月03日	1時限	必修-11-カ-b 必修-14-ア-d 必修-14-ア-f 必修-14-ア-g 必修-14-ア-f

---

担当者 久山 佳代

テーマ： プレ試験問題解説講義2

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた病理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

1) 6大病変の基本的な概念を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月06日	1時限	必修-6-A-e 必修-6-I-b

---

担当者 吉垣 純子

テーマ： プレ試験問題解説講義3

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 神経系の分類と役割を説明できる。
- 2) ホルモンの分類と役割を説明できる。
- 3) 呼吸・循環の調節機構を説明できる。
- 4) 感覚の種類と伝導路を説明できる。
- 5) 口腔の反射の種類と反射弓を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月07日	1時限	必修-6-U-c 必修-6-U-d 必修-7-I-a

---

担当者 岡田 裕之

テーマ： プレ試験問題解説講義4

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の化学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質，象牙質・歯髄複合体およびセメント質の構造を説明できる。
- 2) 歯根膜，歯槽骨および歯肉の構造を理解する。
- 3) 歯の発生を説明できる。
- 4) 歯胚の構造を理解する。
- 5) 口腔粘膜上皮の種類と特徴を説明できる。
- 6) 唾液腺の種類とその特徴を理解する。

講義日	時限	国試出題基準
10月08日	1時限	必修-15-h-e 必修-15-h-c

---

担当者 松本 裕子

テーマ： プレ試験問題解説講義5

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

1) 薬物の作用機序と体内動態について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月09日	1時限	総論-VI-6-イ 総論-II-11-イ

---

担当者 栗原 紀子

テーマ： プレ試験問題解説講義6

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の化学的根拠に基づいた細菌学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌・ウイルス・真菌感染症の種類と病原菌を説明できる。
- 2) 滅菌と消毒の種類と適応を説明できる。
- 3) プラークについて説明できる。
- 4) 口腔に症状を呈する疾患と関連する微生物について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月10日	1時限	総論-Ⅲ-1-ア

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： プレ試験問題解説講義7

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

1) 人体の正常構造と機能について生化学的に説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月11日	1時限	必修-15-マ-a 総論-XI-1-ア 総論-XI-1-イ 総論-XI-1-ウ 総論-XI-1-エ

---

担当者 西山 典宏

テーマ： プレ試験問題解説講義8

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

1) 歯科治療で用いられる材料の組成、性質および特徴について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月15日	1時限	必修-8-ア-a 必修-8-ア-b 必修-8-ア-c

---

担当者 多田 充裕

テーマ： 医療面接

授業の一般目標： 適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 医療面接の意義・目的について説明できる。
- 2) 医療面接のマナーについて説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月16日	1時限	必修-5-ア-c 必修-8-ア-a 必修-8-ウ-a 必修-8-ウ-b 必修-8-ウ-c 必修-8-ウ-d 必修-8-ウ-e 必修-8-ウ-f

---

担当者 岡本 康裕

テーマ： POSとPOMR

授業の一般目標： 十分な情報収集・情報の整理を行い、患者さんを中心とした医療を実践するために、問題指向型診療録について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 問題解決過程について説明できる。
- 2) POSについて説明できる。
- 3) SOAPについて説明できる。
- 4) POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月17日	1時限	必修-1-ア-b 必修-1-ア-a 必修-1-ア-b 必修-1-ア-c 必修-4-イ-c 必修-4-イ-d 必修-4-イ-f

---

担当者 青木 伸一郎

テーマ： 医療倫理

授業の一般目標： 国民の保健・医療全般にわたる意識の向上と価値観の多様化などの社会状況の変化に十分対応するために必要な知識と医の倫理を身につける。

到達目標SBOs：

- 1) 医の倫理に関する規範・国際規範を説明できる。
- 2) 基本的人権の尊重について概説できる。
- 3) 患者に対する歯科医師の法的義務を説明できる。
- 4) 歯科医療安全管理体制を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月18日	1時限	必修-8-イ-d 必修-8-イ-c 必修-8-イ-f

---

担当者 多田 充裕

テーマ： 医療コミュニケーションスキル

授業の一般目標： 適切な医療面接を行うために、患者とのコミュニケーションスキルを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) コミュニケーションの3大スキル（聴く、質問する、伝える）を説明できる。
- 2) 適切な医療者の態度を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月20日	1時限	各論-Ⅱ-5-ウ 各論-Ⅲ-1-ア

---

担当者 清水 邦彦

テーマ： 解説講義

授業の一般目標： 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷歯への対応、歯冠修復、歯内療法、齲蝕と進行抑制について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 小児の外傷歯への対応を説明できる。
- 2) 小児の歯冠修復、歯内療法を説明できる。
- 3) 小児の齲蝕と進行抑制について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月21日	1時限	各論-Ⅱ-5-ウ 各論-Ⅱ-5-イ

---

担当者 岡本 京

テーマ： 小児の外傷歯への対応

授業の一般目標： 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処することができるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 小児の歯の外傷の特徴を説明できる。
- 2) 小児の歯の外傷の原因を説明できる。
- 3) 外傷歯への影響を説明できる。
- 4) 乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。
- 5) 乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 6) 乳歯および幼若永久歯の歯根破折の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 7) 乳歯および幼若永久歯の脱臼の検査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 8) 抜歯の適応について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月22日	1時限	各論-Ⅲ-1-ア 各論-Ⅲ-1-イ

---

担当者 荒井 清司

テーマ： 小児期の歯冠修復と歯内療法

授業の一般目標： ・小児（乳歯および幼若永久歯）の歯冠修復に際して必要な知識を学ぶ。幼若永久歯は成熟した永久歯と多くの相違点を有しており、特別な配慮を必要とする。  
・小児（乳歯および幼若永久歯）の歯内療法に際して必要な知識を学ぶ。乳歯および幼若永久歯は薬剤や術式など歯内療法に際して成熟した永久歯と多くの相違点を有しており、特別な配慮を必要とする。

到達目標 S B O s :

- 1) アペキシフィケーションの必要薬剤
- 2) アペキソゲネシスの術式
- 3) ラバーダム防湿
- 4) 乳歯冠の器材
- 5) 生活歯髄切断法の術式

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月23日	1時限	各論-Ⅲ-1-ア 各論-I-1-オ

---

担当者 伊藤 龍朗

テーマ： 小児の歯科治療、齲蝕と進行抑制

授業の一般目標： 小児の齲蝕処置および齲蝕予防処置ができるようになるために、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 小児の齲蝕の特徴を説明できる。
- 2) フッ化物の使用について説明できる。
- 3) シーラントについて説明できる。
- 4) 口腔衛生指導について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月24日	1時限	必修-15-へ-a 各論-VI-15-イ 各論-VI-15-ウ 各論-VI-15-エ 各論-VI-16-イ-a

---

担当者 地主 知世

テーマ： 摂食嚥下リハビリテーション

授業の一般目標： 嚥下障害者に対し指導ができるようになるために、摂食嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 嚥下のメカニズムを述べられる。
- 2) 摂食嚥下障害について述べられる。
- 3) 疾患と嚥下障害との関連を述べられる。
- 4) 誤嚥性肺炎を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月25日	1時限	総論-VIII-3-ア 総論-VIII-3-イ 総論-VIII-3-ウ

---

担当者 三田村 佐智代

テーマ： 障害者の歯科治療

授業の一般目標： 障害者歯科保健に関わる基本理念，障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 障害者の主な口腔症状について説明できる。
- 2) 障害者の主な歯科治療について説明できる。
- 3) 先天異常ならびに症候群について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月27日	1時限	必修-7-ウ-a 各論-VI-13-キ 各論-VI-13-カ 総論-V-1-ク

---

担当者 伊藤 梓

テーマ： 高齢者の歯科治療

授業の一般目標： 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する

到達目標SBOs：

- 1) 高齢者の口腔の特徴について説明できる。
- 2) 高齢者の身体的特徴について説明できる。
- 3) 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月28日	1時限	必修-16-イ-a 必修-16-オ-b

---

担当者 梅澤 幸司

テーマ： 訪問歯科診療

授業の一般目標： 居宅や老人福祉施設におけるスペシャルニーズのある人に対する歯科治療やそれらを取り巻く環境について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 訪問歯科診療について説明できる
- 2) 訪問歯科診療の対象について説明できる。
- 3) 居宅について説明できる。
- 4) 老人福祉施設について説明できる。
- 5) 社会保障制度を説明できる。
- 6) 地域医療連携について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月29日	1時限	各論-Ⅱ-7-エ 必修-14-イ-e 各論-Ⅱ-7-イ

---

担当者 五関 たけみ

テーマ： 不正咬合の原因および病態

授業の一般目標： 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 不正咬合の先天的原因について説明できる。
- 2) 不正咬合の後天的原因について説明できる。
- 3) 各種不正咬合の特徴を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
10月30日	1時限	各論-Ⅱ-11-ア

---

担当者 齋藤 勝彦

テーマ： 矯正装置

授業の一般目標： 混合歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) ナンスのホールディングアーチについて説明できる。
- 2) 舌側弧線装置について説明できる。
- 3) 拡大装置について説明できる。
- 4) 機能性矯正装置について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月31日	1時限	各論-Ⅱ-8-ウ

---

担当者 齋藤 勝彦

テーマ： 永久歯列の矯正治療

授業の一般目標： 永久歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 抜歯、非抜歯の診断について説明できる。
- 2) 抜歯部位について説明できる。
- 3) マルチブラケット装置の治療について説明できる。
- 4) 固定および固定装置について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月01日	1時限	各論-Ⅱ-1 1-エ 各論-Ⅱ-8-ウ 各論-Ⅱ-8-エ

---

担当者 五関 たけみ

テーマ： 顎変形症に対する矯正治療

授業の一般目標： 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) デンタルコンペンセーションを説明できる。
- 2) 外科的矯正治療の流れを説明できる。
- 3) 術前矯正治療について説明できる。
- 4) 顎矯正手術法の種類と適応を述べることができる。

講義日	時限	国試出題基準
11月06日	1時限	各論-I-1-オ

---

担当者 岡田 珠美

テーマ： 齲蝕のリスクファクターと予防について

授業の一般目標： カリエスコントロールのために齲蝕のリスクファクターとその改善法について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕のリスクファクターを列挙することができる。
- 2) 齲蝕のリスクファクターについて説明できる。
- 3) 患者自身で行なう齲蝕のリスクファクター改善法について説明できる。
- 4) 歯科医院で行なう齲蝕のリスクファクター改善法について説明できる。
- 5) 齲蝕の予防法について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月07日	1時限	各論-III-3-オ

---

担当者 岡田 珠美

テーマ： 齲蝕除去の臨床手順と使用器具及び歯髄保護法とAIPCについて

授業の一般目標： 歯髄保護のための齲蝕除去方法と各種歯髄保護方法について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕除去に必要な器具と臨床的手順について説明できる
- 2) 各種歯髄保護法の術式および使用薬剤について説明できる。
- 3) AIPCについて説明ができる。
- 4) AIPCの臨床的手順について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月08日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ

---

担当者 神谷 直孝

テーマ： コンポジットレジン修復の術式と使用器材について

授業の一般目標： 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、診療の基本となる術式と使用器材の正しい取扱いについて修得する。

到達目標SBOs：

- 1) コンポジットレジン修復の基本的術式について説明できる。
- 2) コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。
- 3) 処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。
- 4) 齶蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月10日	1時限	各論-Ⅲ-3-ウ 各論-Ⅲ-3-ウ 各論-Ⅲ-3-エ

---

担当者 森 俊幸

テーマ： レジン・セラミックインレー修復の窩洞の特徴、臨床手順と接着操作について

授業の一般目標： レジン・セラミックインレー修復法を適切に行えるようにするために特徴、適応症、術式について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) レジンインレー窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 2) セラミックインレー窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 3) レジンコーティング法の目的と特徴について説明できる。
- 4) 予後と術後管理について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月11日	1時限	総論-XI-13-ウ 総論-XI-13-ア 総論-XI-13-イ 総論-XI-13-エ

---

担当者 鈴木 英明

テーマ： 接着修復治療の術後管理 -補修修復を中心にして-

授業の一般目標： 接着修復治療後の修復物の補修が行えるようになるために、異種材料に対する被着面の処理方法と手順について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 補修修復の適応症について説明できる。
- 2) 補修修復の術式と器材について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月12日	1時限	各論-III-5-イ 総論-VI-5-イ 総論-VI-5-エ 総論-VI-5-オ 総論-VI-8-ア 総論-VII-2-ア 各論-III-5-ウ 各論-III-5-エ

---

担当者 松島 潔

テーマ： 歯髄・根尖歯周組織疾患

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄・根尖歯周組織疾患の原因、病態、症候を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の原因を説明できる。
- 2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の病態を説明できる。
- 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患の症候を説明できる。
- 4) 歯内歯周疾患を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月13日	1時限	総論-VI-11-I 各論-III-6-U 各論-III-6-E 各論-III-6-K 各論-III-6-N

---

担当者 岡部 達

テーマ： 歯内療法の基本原則

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周組織疾患の適切な診療を理解するために、歯内療法の基本原則を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯内療法における無菌的処置について説明できる。
- 2) 感染歯質の除去と隔壁について説明できる。
- 3) 機械的拡大の限界と根管洗浄の意義について説明できる。
- 4) コロナルリーケージについて説明できる。
- 5) 根管充填後の補綴治療が予後に及ぼす影響について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月14日	1時限	各論-III-6-O 各論-III-6-I 各論-III-6-U 各論-III-6-E 各論-III-6-K

---

担当者 神尾 直人

テーマ： 歯髄・歯周組織疾患の治療

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周組織疾患の適切な診療をするために、歯内療法の術式、器具、材料を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯髄保存療法の種類、術式を説明できる。
- 2) 根管形成法の種類、術式を説明できる。
- 3) 根管充填法の種類、術式を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月15日	1時限	各論-VI-2-ウ 各論-III-6-コ 各論-VI-2-ア 各論-VI-2-イ 各論-VI-2-ウ

---

担当者 岡部 達

テーマ： 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療（高齢者の治療・外傷）

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周疾患の適切な治療をするために、歯の加齢変化、高齢者における歯内療法、歯の外傷を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯の加齢変化を説明できる。
- 2) 高齢者の歯髄疾患の特徴を説明できる。
- 3) 高齢者の歯内療法の注意点を説明できる。
- 4) 歯の外傷の病態を説明できる。
- 5) 破折した歯の治療を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月17日	1時限	各論-III-6-オ 各論-III-6-ウ 各論-III-6-エ 各論-III-6-カ

---

担当者 松島 潔

テーマ： 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療（顕微鏡・NiTiファイル）

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯内療法の術式、器具を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。
- 2) NiTiファイルを用いた歯内療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月18日	1時限	総論-IX-1-エ 必修-10-ク-c

---

担当者 吉野 祥一

テーマ： 歯周病の診査・診断

授業の一般目標： 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周組織検査の項目について列挙できる。
- 2) 歯周疾患の分類について説明できる。
- 3) 歯周治療の進め方について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月19日	1時限	各論-III-9-コ

---

担当者 中山 洋平

テーマ： 歯周病と全身疾患

授業の一般目標： 歯周疾患と全身疾患との関連について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 慢性歯周炎と糖尿病との関係について説明できる。
- 2) 慢性歯周炎と心血管系疾患との関係について説明できる。
- 3) 慢性歯周炎と呼吸器感染症との関係について説明できる。
- 4) 慢性歯周炎と骨粗鬆症との関係について説明できる。
- 5) 慢性歯周炎とメタボリックシンドロームとの関係について説明できる。
- 6) 慢性歯周炎と早産・低体重児出産との関係について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月20日	1時限	各論-Ⅲ-9-オ 各論-Ⅲ-9-エ

---

担当者 小方 頼昌

テーマ： 最新の歯周治療

授業の一般目標： 最新の歯周治療に関する知識を習得する

到達目標SBOs：

- 1) 歯周組織再生に必要な骨代謝メカニズムについて説明できる
- 2) 成長因子を使用した歯周組織再生療法について説明できる
- 3) 幹細胞を使用した歯周組織再生療法について説明できる

-----

講義日	時限	国試出題基準
11月21日	1時限	各論-Ⅲ-9-イ

---

担当者 高井 英樹

テーマ： 歯周基本治療・咬合治療

授業の一般目標： 歯周基本治療について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周基本治療の項目を列挙できる。
- 2) 歯周基本治療の内容について説明できる。
- 3) 口腔清掃指導について説明できる。
- 4) スケーリングについて説明できる。
- 5) ルートプレーニングについて説明できる。
- 6) 咬合性外傷について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月22日	1時限	各論-Ⅲ-9-エ

---

担当者 高井 英樹

テーマ： 歯周外科治療・メンテナンス・SPT

授業の一般目標： 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、その後のメンテナンスおよびSPTについて理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 新付着術について説明できる。
- 2) 歯肉切除術について説明できる。
- 3) 歯肉剥離搔爬術について説明できる。
- 4) 歯周組織再生療法について説明できる。
- 5) 歯周形成外科手術について説明できる。
- 6) メンテナンスおよびSPTについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月27日	1時限	必修-6-イ-d

---

担当者 川良 美佐雄

テーマ： 顎機能に関わる解剖

授業の一般目標： 歯科臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動に関する解剖学的事項を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 下顎運動と咀嚼筋の連関を説明できる
- 2) 下顎限界運動に関わる靭帯について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月28日	1時限	総論-IV-3-ア 総論-IV-3-イ 総論-IV-3-ウ 総論-IV-3-サ 総論-IV-3-ス

---

担当者 小見山 道

テーマ： 顎機能に関わる生理

授業の一般目標： 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、顎機能に関わる生理学的知識を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 顎機能に関わる基準点、基準線、基準面について説明できる。
- 2) 顎機能に関わる下顎位について説明できる。
- 3) 顎機能に関わる下顎運動について説明できる。
- 4) 顎機能に関わる咀嚼運動について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月29日	1時限	各論-V-6-イ 各論-V-6-ア

---

担当者 木本 統

テーマ： 有床義歯補綴治療に必要な解剖学的知識

授業の一般目標： 印象採得や義歯トラブルの診断のための解剖学的知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 上顎顎堤のランドマークを説明できる。
- 2) 上顎義歯床に影響する筋肉を述べることができる。
- 3) 上顎筋形成時の動きを説明できる。
- 4) 下顎顎堤のランドマークを説明できる。
- 5) 下顎義歯床に影響する筋肉を述べることができる。
- 6) 下顎筋形成時の動きを説明できる。
- 7) 義歯装着時のトラブルと解剖を関係づけることができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月01日	1時限	各論-V-2-イ 各論-V-2-ウ 各論-V-2-エ 各論-V-5-ア 各論-V-6-ア

---

担当者 石井 智浩

テーマ： 有床義歯補綴診療における模型診断と義歯設計

授業の一般目標： 歯列欠損補綴の診断と治療ができるようになるために、有床義歯による治療方法とその基本知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 有床義歯作製時の診査について説明することができる。
- 2) 部分床義歯の設計方針について説明できる。
- 3) サベイングについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月02日	1時限	各論-V-5-イ 各論-V-5-ウ

---

担当者 飯島 守雄

テーマ： 有床義歯製作のための精密印象

授業の一般目標： 有床義歯制作過程における印象採得に関する知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 咬合圧負担様式を知る。
- 2) 粘膜の被圧変位性を説明できる。
- 3) 印象法の種類を説明できる。
- 4) 加圧印象法の原理を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月03日	1時限	各論-V-5-ア 各論-V-5-カ 各論-V-5-キ

---

担当者 石井 智浩

テーマ： 部分床義歯の支台装置と連結子

授業の一般目標： 歯列欠損補綴の診断と治療ができるようになるために、有床義歯の治療方法とその基本知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 支台装置の種類と適応について説明できる。
- 2) 連結子の種類と適応について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月04日	1時限	各論-V-6-エ 各論-V-5-エ

---

担当者 伊藤 誠康

テーマ： 有床義歯における顎間関係の記録（咬合採得）

授業の一般目標： 歯牙欠損患者の形態、機能および心理的变化に対応するために、有床義歯による再建とリハビリテーションの理論と実践を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 有床義歯の咬合床について説明できる。
- 2) 顎の対向関係位の設定の手順を説明できる。
- 3) 仮想咬合平面の決定法について説明できる。
- 4) 垂直的顎関係の決定法を列挙できる。
- 5) 水平的顎関係の決定法を列挙できる。
- 6) 咬合高径が高すぎる場合の問題点を列挙できる。
- 7) 咬合高径が低すぎる場合の問題点を列挙できる。
- 8) フェースボウトランスファーの目的を説明できる。
- 9) 無歯顎患者の下顎運動の測定法を説明できる。
- 10) ゴシックアーチ描記法の目的と手順を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月05日	1時限	各論-V-5-キ 各論-V-5-ク

---

担当者 石井 智浩

テーマ： クラスプ・メタルフレーム試適と人工歯排列・試適

授業の一般目標： 歯列欠損補綴の診断と治療ができようになるために、有床義歯の治療方法とその基本知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) フレームワークの構造について説明できる。
- 2) クラスプ・フレームワークの試適方法について説明できる。
- 3) 人工歯排列について説明できる。
- 4) 蟻義歯の試適時の診査事項について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月06日	1時限	各論-V-5-エ 各論-V-5-オ

---

担当者 飯島 守雄

テーマ： 有床義歯製作における下顎運動の記録方法

授業の一般目標： 有床義歯制作過程における下顎運動の記録方法について、基礎的・臨床的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 咬合採得について説明できる。
- 2) 下顎運動の記録方法について説明できる。
- 3) 記録した下顎運動を補綴装置に生かすことができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月08日	1時限	各論-V-6-サ 各論-V-10-ア 各論-V-10-エ 各論-V-10-オ 各論-V-10-カ

---

担当者 木本 統

テーマ： 有床義歯の術後管理とトラブルの対処法

授業の一般目標： 有床義歯の長期使用時トラブルを解決する知識を修得する

到達目標SBOs：

- 1) 痛みの原因を説明できる
- 2) 義歯が不安定になる原因を説明できる
- 3) 長期経過により生じる義歯の変化を説明できる。
- 4) 長期経過による顎堤の変化を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月09日	1時限	各論-V-5-ス 各論-V-6-サ 各論-V-5-セ 各論-V-6-シ

---

担当者 矢崎 貴啓、木本 統

テーマ： 有床義歯の装着後の調整

授業の一般目標： 有床義歯の診断と治療ができるようになるために、有床義歯による治療方法とその基本知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 有床義歯の装着時の調整について説明できる。
- 2) 有床義歯装着時の患者への指導項目を説明できる。
- 3) 有床義歯装着後の調整を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月10日	1時限	各論-V-10-キ

---

担当者 大久保 昌和

テーマ： リライン・リベース

授業の一般目標： 歯列部分欠損による障害の補綴歯科治療ができるようになるために、部分床義歯装着後に生じる問題と対応についての知識を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 部分床義歯装着後に生じる問題について説明できる。
- 2) 部分床義歯のリラインについて説明できる。
- 3) 部分床義歯のリベースについて説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月11日	1時限	各論-V-4-イ

---

担当者 後藤 治彦

テーマ： クラウンブリッジの診査と設計方針

授業の一般目標： クラウンブリッジの診査を行うために必要な診査方法、および補綴装置の設計を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンブリッジの要件を説明できる。
- 2) クラウンブリッジの診査において、各検査の意義と内容を説明できる
- 3) 咬合ならびに支台歯の評価および臨床診断について説明できる。
- 4) 治療計画を左右する因子について説明することができる。
- 5) クラウンブリッジの治療計画を立案することができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月12日	1時限	各論-V-4-エ 各論-V-4-ウ

---

担当者 小林 平

テーマ： 前処置・支台築造・支台歯形成

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、前処置、支台築造および支台歯形成の意義と術式を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンブリッジの前処置について説明できる。
- 2) 支台築造法の種類と選択方法を説明できる。
- 3) 各種支台装置に対する支台歯形成の術式を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月13日	1時限	各論-V-4-カ 各論-V-4-ク

---

担当者 小林 平

テーマ： 歯肉圧排・精密印象・咬合採得

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、歯肉圧排、精密印象採得および咬合採得の術式を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯肉圧排の種類と術式を説明できる
- 2) 精密印象の種類と術式を説明できる。
- 3) クラウンブリッジの咬合採得について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月15日	1時限	各論-V-4-シ

---

担当者 小林 平

テーマ： ワックスアップ・埋没・鋳造・ろう着

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、ワックスアップ、埋没、鋳造、ろう着の歯冠補綴装置製作に関する術式を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) ワックスアップの種類と特徴を説明できる。
- 2) 埋没材の種類と使用方法ならびに特徴を説明できる。
- 3) 鋳造用金属の種類と特徴を説明できる。
- 4) クラウンブリッジの製作における鋳造方法の種類と特徴を説明できる。
- 5) 前ろう付けと後ろう付け方法について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月16日	1時限	各論-V-4-ス

---

担当者 後藤 治彦

テーマ： 研磨・試適・仮着・装着・術後管理

授業の一般目標： 歯冠補綴の治療を適切に行うために、クラウンブリッジの研磨法、口腔内試適と装着手順ならびに術後管理について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンの研磨法について説明できる。
- 2) クラウンの口腔内試適および調整手順を説明できる。
- 3) クラウンの仮着法および臨床的意義を説明できる。
- 4) クラウンの装着方法について説明できる。
- 5) クラウンブリッジの術後管理の重要性を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月17日	1時限	各論-V-8-ウ 各論-V-8-ア 各論-V-8-イ

---

担当者 村上 洋

テーマ： インプラント治療にかかわる基本的知識

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療の臨床的特徴を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
12月18日	1時限	各論-V-8-ケ

---

担当者 北川 剛至

テーマ： インプラントの上部構造・補綴治療

授業の一般目標： インプラント治療に関する基礎的知識を習得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療の特徴，他の補綴治療との比較を説明できる。  
2)インプラント補綴の術式を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月19日	1時限	各論-V-8-ウ 各論-V-8-オ 各論-V-8-キ 各論-V-8-ケ 各論-V-8-コ 各論-V-8-サ 総論-XI-16-ア

---

担当者 村上 洋

テーマ： 解説講義

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1) 国家試験問題を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月13日	1時限	各論-IV-8-イ

---

担当者 小椋 一朗

テーマ： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断

授業の一般目標： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1) 顎・口腔領域の損傷の特徴的な画像所見を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月14日	1時限	各論-IV-9-オ

---

担当者 小椋 一朗

テーマ： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断

授業の一般目標： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

1) 顎・口腔領域の炎症性疾患の特徴的な画像所見を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月15日	1時限	各論-IV-11-ア

---

担当者 佐々木 悠介

テーマ： 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の適切な画像検査法を選択できる。
- 2) 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴像を説明できる。
- 3) 画像による顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の鑑別診断をすることができる。

講義日	時限	国試出題基準
01月16日	1時限	各論-IV-4-エ

---

担当者 佐々木 悠介

テーマ： 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の適切な画像検査法を選択することができる。
- 2) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴像を説明することができる。
- 3) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の鑑別診断をすることができる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月17日	1時限	総論-IX-3-イ

---

担当者 市村 真奈

テーマ： 感染症

授業の一般目標： 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 感染症の定義について述べるができる。
- 2) 感染症を調べるための検査項目を述べるができる。
- 3) 感染症の原因と臨床症状を述べるができる。
- 4) 感染症に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べるができる。

講義日	時限	国試出題基準
01月19日	1時限	必修-1 1-ウ-b

---

担当者 小峯 千明

テーマ： 出血性素因

授業の一般目標： 出血性素因について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 出血性素因の定義を述べられる。
- 2) 出血性素因の原因を述べられる。
- 3) 止血の仕組みを述べられる。
- 4) 出血性素因を調べるための検査項目を述べられる。
- 5) 出血性素因を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月20日	1時限	各論-IV-1 6-カ-a

---

担当者 深津 晶

テーマ： 貧血

授業の一般目標： 貧血について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 貧血の定義が述べられる。
- 2) 貧血を調べるための検査項目およびその意義を述べられる。
- 3) 貧血に伴う特等的な症状を述べられる。

講義日	時限	国試出題基準
01月21日	1時限	各論-IV-17-イ 各論-IV-17-キ

---

担当者 河島 睦

テーマ： 全身疾患を有する患者に対する外科処置について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔外科治療に影響する疾患の種類を列挙できる。
- 2) 口腔外科治療に影響する疾患の特徴・症状を説明できる。
- 3) 口腔外科治療時の患者管理を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月22日	1時限	各論-II-4-ウ

---

担当者 濱野 美緒

テーマ： 抜歯について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 単純・複雑・埋伏歯の抜歯の術式を説明できる。
- 2) 抜歯の禁忌症を説明できる。
- 3) 抜歯の偶発症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月23日	1時限	各論-IV-9-オ 各論-IV-3-イ

---

担当者 西村 均

テーマ： 炎症性疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画を立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨の炎症について説明できる。
- 2) 軟組織の炎症について説明できる。
- 3) 炎症の波及について説明できる。
- 4) 膿瘍について説明できる。
- 5) 蜂窩織炎について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月24日	1時限	各論-IV-9-ク

---

担当者 濱野 美緒

テーマ： ビスホスホネート製剤と歯科治療について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画を立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) ビスホスホネートの適応症を説明できる。
- 2) ビスホスホネートの作用機序を説明できる。
- 3) 歯科治療とビスホスホネートの関連を説明できる。
- 4) ビスホスホネート服用患者の外科処置について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月26日	1時限	各論-IV-8-カ 各論-IV-8-ウ

---

担当者 植木 宏之

テーマ： 上顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨骨折について説明できる。
- 2) 上顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 3) 上顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 4) 上顎骨骨折の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月27日	1時限	各論-IV-8-エ 各論-IV-8-サ

---

担当者 石上 大輔

テーマ： 下顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨骨折について説明できる。
- 2) 下顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 3) 下顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 4) 下顎骨骨折の治療法を説明できる。
- 5) 下顎骨骨折の固定法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月28日	1時限	各論-IV-6-チ 各論-IV-6-テ

---

担当者 岩井 聡

テーマ： 顎口腔領域の粘膜疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画を立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔粘膜疾患の種類を列挙出来る
- 2) 粘膜疾患の特徴を述べる事が出来る
- 3) 粘膜疾患の治療法を説明できる

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月29日	1時限	各論-IV-16-ア

---

担当者 濱野 美緒

テーマ： 口腔に関連するウイルス疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画を立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔に関連するウイルスの種類を列記できる。
- 2) 口腔に関連するウイルスの特徴を説明できる。
- 3) ウイルス疾患の治療法と対処法を説明できる。
- 4) 単純疱疹について説明できる。
- 5) 帯状疱疹について説明できる。
- 6) ヘルパンギーナについて説明できる。
- 7) 手足口病について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月30日	1時限	各論-V-8-オ

---

担当者 玉木 大之

テーマ： 口腔インプラント埋入手術について

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント外科処置について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
01月31日	1時限	必修-10-オ-c

---

担当者 下坂 典立

テーマ： Vital Signs について

授業の一般目標： 歯科治療を安全に行うために、Vital Signs および基本的なモニタリング（生体管理）項目について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)医療でのVital Signs について説明できる。
- 2)血圧について説明できる。
- 3)脈拍について説明できる。
- 4)呼吸について説明できる。
- 5)体温について説明できる。
- 6)モニタリング（生体管理）項目について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月02日	1時限	必修-13-イ-a 総論-X-3-イ 総論-X-3-ウ 総論-X-3-エ 総論-X-3-オ 総論-X-3-カ

---

担当者 石橋 肇

テーマ： 救急蘇生法、二次救命処置について

授業の一般目標： 歯科治療中に発生する可能性のある心肺停止に対応できるようになるために、救急蘇生法および二次救命処置について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 一次救命処置（BLS）について説明できる。
- 2) 二次救命処置（ALS）について説明できる。
- 3) 除細動について説明できる。
- 4) 除細動の適応不整脈について説明できる。
- 5) ALS時の薬物投与経路について説明できる。
- 6) ALSに使用する薬物について説明できる。
- 7) 高度な気道確保について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
02月03日	1時限	必修-15-ホ-b

---

担当者 石川 義継

テーマ： 気管支喘息患者、ステロイド内服患者について

授業の一般目標： 気管支喘息患者、ステロイド内服患者について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 気管支喘息の病態について説明できる。
- 2) 気管支喘息患者の歯科治療上の注意点について説明できる。
- 3) 気管支喘息発症時の対応について説明できる。
- 4) ステロイド薬の薬理学特徴について説明できる。
- 5) ステロイド薬内服患者の歯科治療上の注意点について説明できる。
- 6) ステロイドカバーについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月04日	1時限	必修-15-ホ-b

---

担当者 鈴木 正敏

テーマ： 高血圧症、虚血性心疾患患者の歯科治療上注意点について

授業の一般目標： 高血圧症、虚血性心疾患患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 高血圧症について説明することができる。
- 2) 高血圧症患者の歯科治療上注意点について説明することができる。
- 3) 局所麻酔時に留意すべき降圧薬について説明することができる。
- 4) 虚血性心疾患について説明することができる。
- 5) 虚血性心疾患患者の歯科治療上注意点について説明することができる。
- 6) 異常高血圧時の対応について説明することができる。
- 7) 胸痛発症時の対応について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月05日	1時限	必修-15-ホ-b 必修-13-イ-b 総論-VIII-6-ア 総論-IX-4-キ

---

担当者 下坂 典立

テーマ： 糖尿病患者の歯科治療上注意点について

授業の一般目標： 糖尿病患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 糖尿病の病態について説明することができる。
- 2) 糖尿病の検査項目について説明することができる。
- 3) 糖尿病患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 4) 糖尿病患者の局所麻酔時の注意点について説明することができる。
- 5) 低血糖時の病態について説明することができる。
- 6) 低血糖発症時の対応について説明することができる。
- 7) 高血糖時の病態について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
02月06日	1時限	各論-IV-17-イ 必修-15-ホ-b

---

担当者 岡部 靖子

テーマ： 心臓弁膜疾患患者の歯科治療上注意点について

授業の一般目標： 心臓弁膜疾患患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 心臓弁膜疾患の病態について説明することができる。
- 2) 心臓弁膜疾患患者の局所麻酔時注意点について説明することができる。
- 3) 心臓弁膜疾患患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 4) 感染性心内膜炎の病態について説明することができる。
- 5) 感染性心内膜炎予防処置について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月12日	1時限	必修-2-ウ-f

---

担当者 有川 量崇

テーマ： プレ試験問題解説講義1

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 歯科医師法について説明できる。
- 2) 医療関係職種について説明できる。
- 3) 医療法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月13日	1時限	総論-I-6-ア

---

担当者 有川 量崇

テーマ： プレ試験問題解説講義2

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 社会保障制度について説明できる。
- 2) 医療福祉・社会福祉・介護保険関連法規について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
02月14日	1時限	各論-I-1-ア 各論-I-1-イ 各論-I-1-ウ 各論-I-1-エ 各論-I-1-オ 各論-I-1-カ

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 齲蝕の予防・管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために齲蝕の病因、ライフステージと齲蝕、予防手段について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕の病因について説明できる。
- 2) 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3) ライフステージにおける齲蝕について説明できる。
- 4) 齲蝕の予防手段について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月16日	1時限	各論-I-1-キ 必修-3-キ-a 必修-3-キ-b 必修-3-キ-c

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： フッ化物応用

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うためにフッ化物の応用について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) フッ化物の応用法について説明できる。
- 2) フッ化物の全身的応用について説明できる。
- 3) フッ化物の局所応用について説明できる。
- 4) フッ化物の代謝について説明できる。
- 5) フッ化物の安全性について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月17日	1時限	各論-I-2-ア 各論-I-2-イ 各論-I-2-ウ 各論-I-2-エ 各論-I-2-オ 各論-I-2-カ

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯周疾患の予防管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理のために歯周疾患や口臭の病因、予防手段について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周疾患の病因について説明できる。
- 2) 歯周疾患のリスクファクター・診断について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防方法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月18日	1時限	総論-Ⅱ-1-エ

---

担当者 有川 量崇

テーマ： 地域医療関係法規

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 地域保健法について説明できる。
- 2) 高齢者の医療の確保に関する法律を説明できる。
- 3) 健康増進法について説明できる。
- 4) 食育基本法について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
02月19日	1時限	必修-3-イ-a 総論-Ⅱ-2-オ 総論-Ⅱ-3-イ 総論-Ⅱ-3-オ 総論-Ⅱ-4-イ 総論-Ⅱ-4-カ 総論-Ⅱ-5-ウ 総論-Ⅱ-6-エ

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 地域歯科保健

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、地域歯科保健について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 地域歯科保健について説明できる。
- 2) 母子歯科保健について説明できる。
- 3) 学校歯科保健について説明できる。
- 4) 産業歯科保健について説明できる。
- 5) 老人歯科保健について説明できる。
- 6) 障害者・障害児歯科保健について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月20日	1時限	総論-Ⅱ-10-ク 総論-Ⅱ-10-ア 総論-Ⅱ-10-イ 総論-Ⅱ-10-ケ 総論-Ⅱ-10-コ 総論-Ⅱ-10-サ

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 歯科疾患の統計指標

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯科領域における統計指標（齲蝕、歯周疾患、歯口清掃状態）について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)疫学の定義と目的について述べることができる。
- 2)齲蝕の統計指標について説明することができる。
- 3)歯周疾患の統計指標について説明することができる。
- 4)口腔清掃状態の統計指標について説明することができる。
- 5)歯のフッ素症の指標について説明することができる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
02月21日	1時限	必修-4-ア-b

---

担当者 有川 量崇

テーマ： 歯科医療の質と安全の確保及び診療記録・情報

授業の一般目標： 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な健康・疾病・障害の概念の知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科医療の質と安全の確保及び診療記録・情報について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月17日	1時限	総論-I-6-イ

---

担当者 有川 量崇

テーマ： 衛生学

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 保健・医療制度について説明できる。
- 2) 医療保険制度について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
03月18日	1時限	必修-3-ア-a

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 衛生学

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために，公衆衛生と口腔衛生について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 健康管理・増進と予防について説明できる。
- 2) 歯科疾患の予防・管理について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月19日	1時限	必修-6-ア-f 総論-III-3-ア 総論-III-3-イ 総論-III-3-ウ 総論-III-3-エ

---

担当者 落合 智子

テーマ： 免疫学

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の基本的知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 免疫系の基本的な構成要素について説明できる。
- 2) 免疫担当細胞の種類を説明できる。
- 3) 免疫機構の全体の流れを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月20日	1時限	総論-IV-1-エ 総論-IV-1-ア 総論-IV-1-イ 総論-IV-1-ウ 総論-IV-1-オ

---

担当者 松野 昌展

テーマ： 解剖学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 頭頸部の構造を局所解剖的な視点で説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月23日	1時限	総論-X-9-オ 総論-X-9-ウ 総論-X-9-ケ

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬理学

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬理学の基本的事項に関する知識を修得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 薬物の作用機序について説明できる。
- 2) 薬物の体内動態について説明できる。
- 3) 薬物の副作用について説明できる。
- 4) 薬物の相互作用について説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
03月24日	1時限	必修-6-ア-c

---

担当者 岡田 裕之

テーマ： 組織学

授業の一般目標： 組織・発生学の概論を説明するとともに、上皮組織の知識を習得し、上皮関連項目を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 細胞の構成を説明できる。
- 2) 上皮の種類とその特徴を説明できる。
- 3) 口腔粘膜上皮の種類とその特徴を説明できる。
- 4) 唾液腺の種類とその特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月25日	1時限	総論-Ⅲ-1-ア

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生化学

授業の一般目標： 全身の構成成分を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の基本的な構造や特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。
- 2) 炭水化物の種類と特徴を説明できる。
- 3) 脂質の構造と特徴を説明できる。
- 4) ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月26日	1時限	必修-15-マ-a 総論-XI-1-オ 総論-XI-1-カ 総論-XI-1-キ 総論-XI-1-ク

---

担当者 谷本 安浩

テーマ： 理工学

授業の一般目標： 歯科材料を適切に使用するために、歯科理工学の基礎知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 有機材料の種類および性質を説明できる。
- 2) 無機材料の種類および性質を説明できる。
- 3) 複合材料の種類および性質を説明できる。
- 4) 金属材料の種類および性質を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月27日	1時限	必修-6-ア-d 必修-6-ア-b

---

担当者 加藤 治

テーマ： 生理学

授業の一般目標： 生理学の基本的な語句の定義を理解する。

到達目標 S B O s :

- 1) 浸透圧の意味が理解できる。
- 2) pHを説明できる。
- 3) 電解質を説明できる。
- 4) ガス分圧を説明できる。

-----

講義日	時限	国試出題基準
03月28日	1時限	総論-VI-1-イ 総論-VI-1-ア

---

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 病理学

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、病因論と病変とのかかわりについて学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 病因を列挙することができる。
- 2) 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。
- 3) 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。